

証券コード：6841  
横河電機株式会社

2022年3月期 第1四半期  
決算説明会

執行役員 経理財務本部長

中嶋 倫子

2021年8月10日

# 目次

## 1. 2022年3月期 第1四半期 連結決算の概要 P. 3

執行役員 経理財務本部長 中嶋 倫子

## 2. 決算補足資料 P. 15

四半期別実績／営業外・特別損益／受注残推移

研究開発費・減価償却費・設備投資／貸借対照表／株価の状況

## 3. 参考資料 P. 23

制御ビジネス金額別受注推移／トピックス

YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

# 2022年3月期 第1四半期 連結決算の概要

対象期間：2021年4月1日～2021年6月30日

## ■第1四半期実績：増収減益

- ・サマリー : 受注は対前年で増加。  
売上は、為替の変動影響等により増収。営業利益は、粗利率の悪化、助成金の減少による反動、販管費の増加等により減益。  
四半期純利益は、前年同期に特別損失を計上したこともあり、ほぼ前年並み。
- ・セグメント別 : 制御 増収減益 (除・為替影響 : 受注10.3%増、売上0.2%減、営業利益30.3%減)  
測定器 増収増益  
航機その他 増収減益
- ・地域別 : 受注は小口先行で回復基調にあるものの、売上は遅行。(地域ごとに状況に差異)
- ・業種別 : Downstream、Chemicalが堅調

## ■通期業績予想：修正なし(為替レート：USD105円、EUR125円)

※当第1四半期連結累計期間より、当社グループ内での経営管理区分の見直しを行った結果、従来「計測事業」セグメントに含まれていたライフイノベーション事業を「制御事業」セグメントに区分を変更するとともに、従来「計測事業」としていた報告セグメントの名称を「測定器事業」に変更しています。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。

# 決算サマリー（前年同期比）

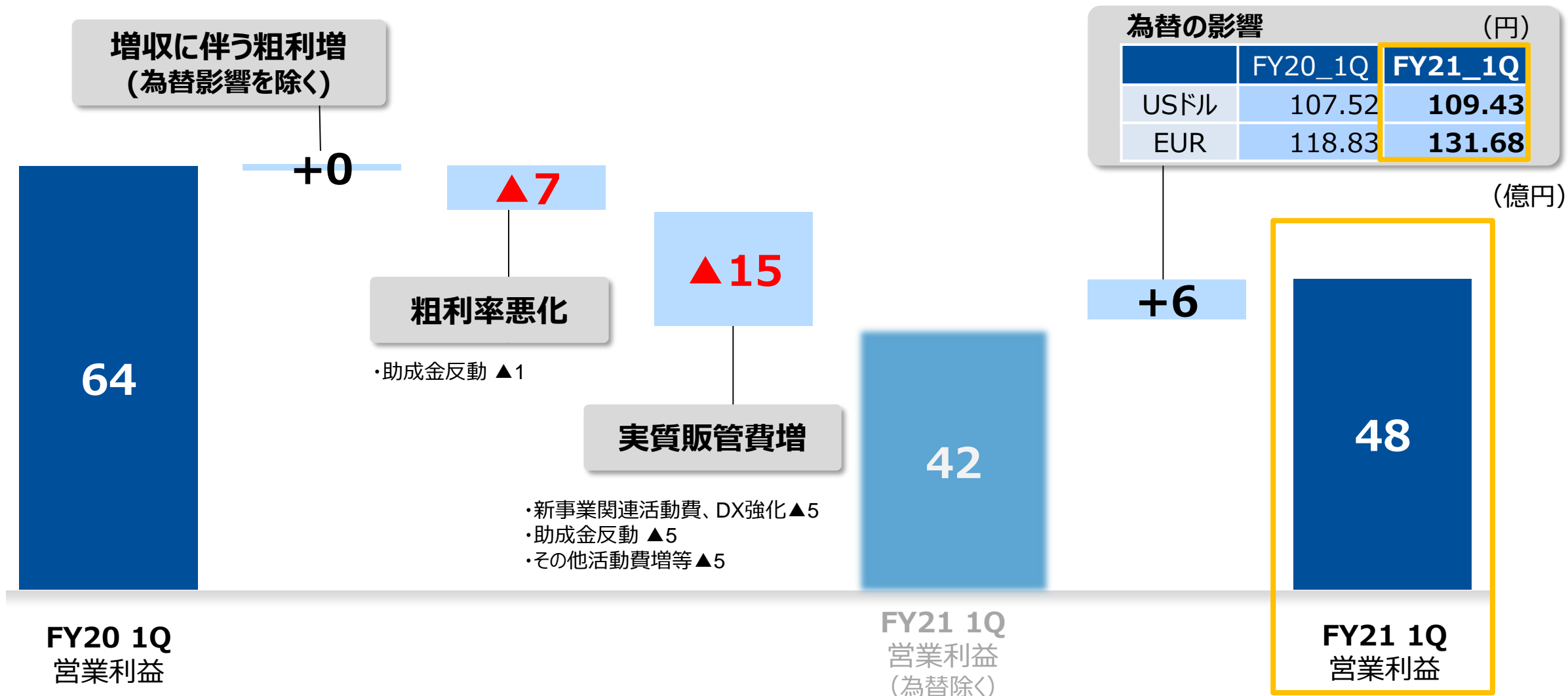
- ◆受注・売上：受注は**増加**（除・為替影響**+9.5%**）  
売上は為替の変動影響等により**増収**（除・為替影響**+0.1%**）
- ◆営業利益：粗利率の悪化、助成金の減少による反動、販管費の増加等により**減益**
- ◆四半期純利益：前年同期に特別損失を計上したこともあり**前年並み**

（億円）

	FY20_1Q	FY21_1Q	差異	増減率	為替影響
受注高	831	<b>956</b>	+125	<b>+15.1%</b>	+47
売上高	820	<b>863</b>	+43	+5.2%	+43
営業利益	64	<b>48</b>	▲16	▲25.2%	+6
ROS(%)	7.8	<b>5.6</b>	▲2.2pt	—	—
経常利益	72	<b>53</b>	▲19	▲26.5%	+6
親会社株主に帰属する四半期純利益	30	<b>30</b>	▲0	▲0.1%	+5
為替レート	1米ドル=	107.52円	<b>109.43円</b>	+1.91円	—

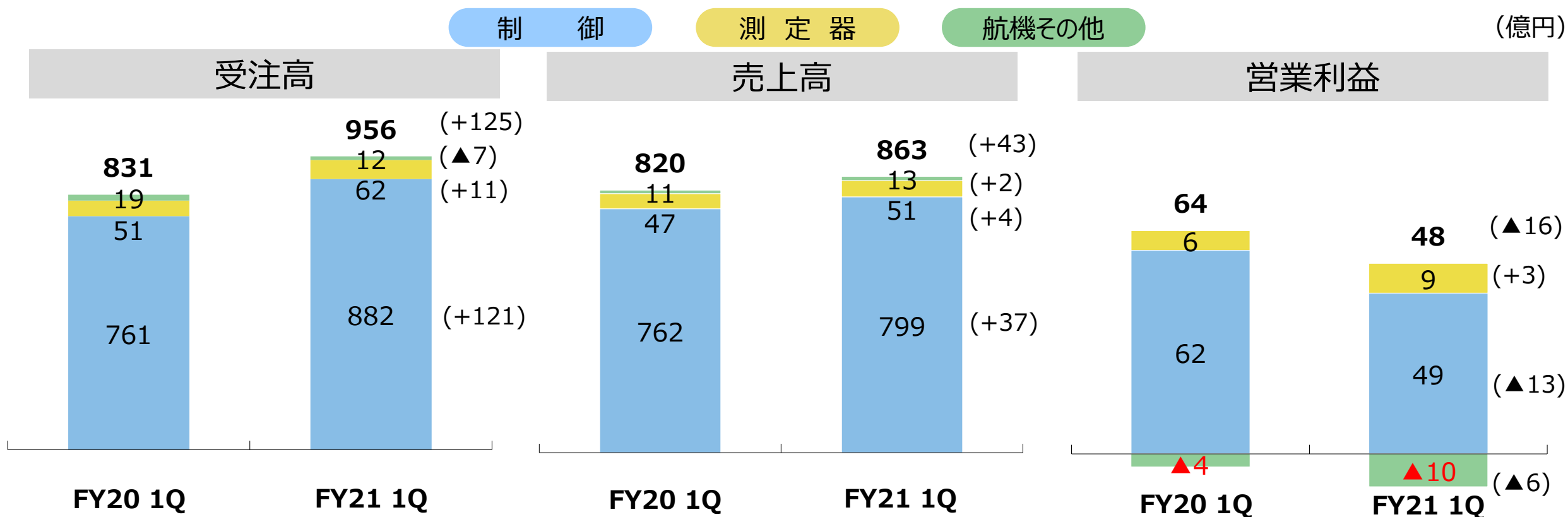
# 営業利益分析（前年同期比）

◆粗利率の悪化、助成金の減少による反動、販管費の増加等により減益



# セグメント別 受注・売上・営業利益

- ◆ 制御事業 : 受注は小口を中心に堅調に推移。売上は為替の変動影響等により増収（除・為替影響：受注+10.3%、売上▲0.2%）  
営業利益は粗利率の悪化、助成金の減少による反動、販管費の増加等により減益  
（除・為替影響：▲19億円、▲30.3%）
- ◆ 測定器事業 : 売上が堅調に推移し、増収増益
- ◆ 航機その他事業 : 売上は堅調に推移したものの、その他事業における販管費の増加などにより、増収減益



# 制御地域別 受注・売上高

◆受注は小口先行で回復基調にあるものの、売上は遅行。(地域ごとに状況に差異)

◆受注：+79億円、+10.3% (除・為替影響) 売上：▲2億円、▲0.2% (除・為替影響)

(億円)

受注高	FY20 1Q (A)	FY21 1Q (B)	前年同期比 (B-A)
日本	226	260	+34
アジア	271	326	+55
(東南アジア・ 極東)	(142)	(144)	(+2)
(中国)	(109)	(151)	(+42)
(インド)	(20)	(31)	(+11)
欧州・CIS	89	124	+35
中東アフリカ	105	88	▲17
北米	40	59	+19
中南米	30	25	▲5
海外小計	535	622	+87
合計	761	882	+121
為替レート 1米ドル=	107.52円	109.43円	+1.91円

売上高	FY20 1Q (A)	FY21 1Q (B)	前年同期比 (B-A)
日本	227	220	▲7
アジア	256	283	+27
(東南アジア・ 極東)	(134)	(134)	(0)
(中国)	(102)	(128)	(+26)
(インド)	(20)	(21)	(+1)
欧州・CIS	102	107	+5
中東アフリカ	89	90	+1
北米	72	73	+1
中南米	16	26	+10
海外小計	535	579	+44
合計	762	799	+37
為替レート 1米ドル=	107.52円	109.43円	+1.91円

\*FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

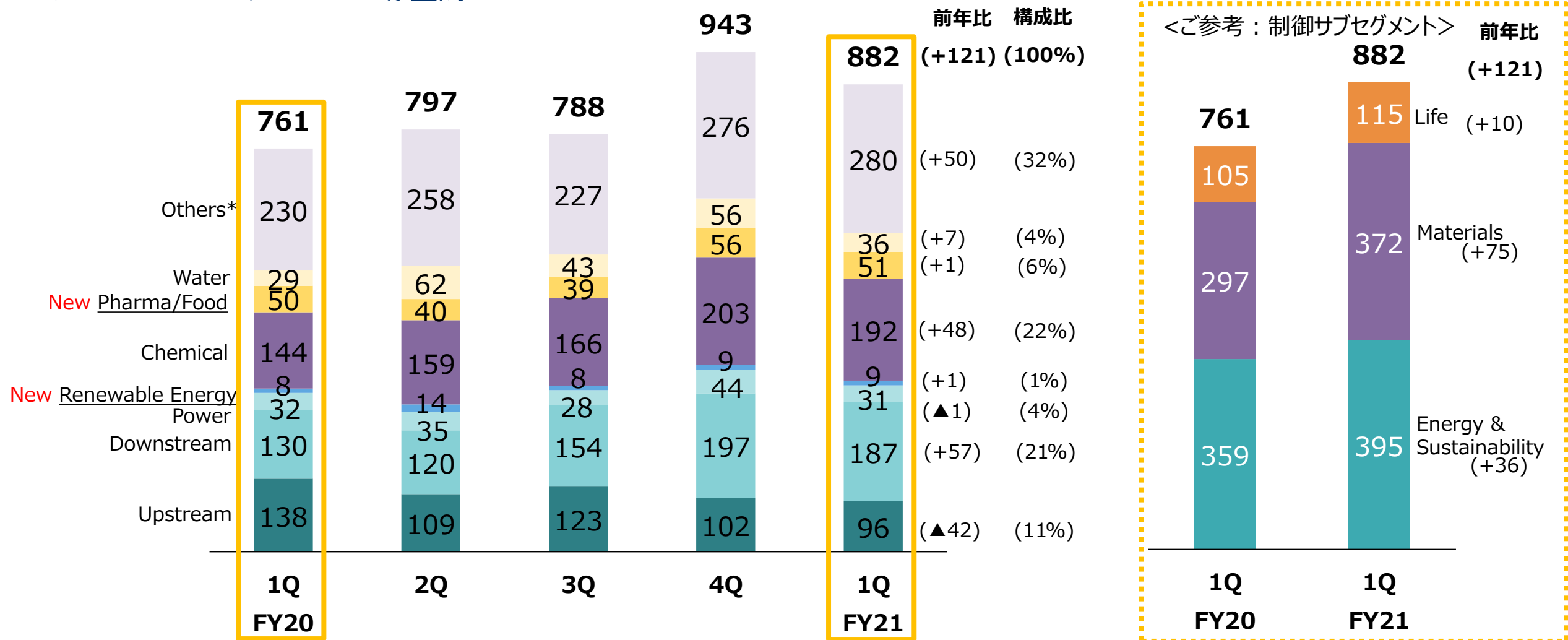
| August 10, 2021 |



# 制御業種別 受注高

◆ Downstream、Chemicalが堅調

(億円)



\*Othersの主な業種：ELECTRICAL & ELECTRONIC、IRON & STEEL、PULP & PAPER ほか

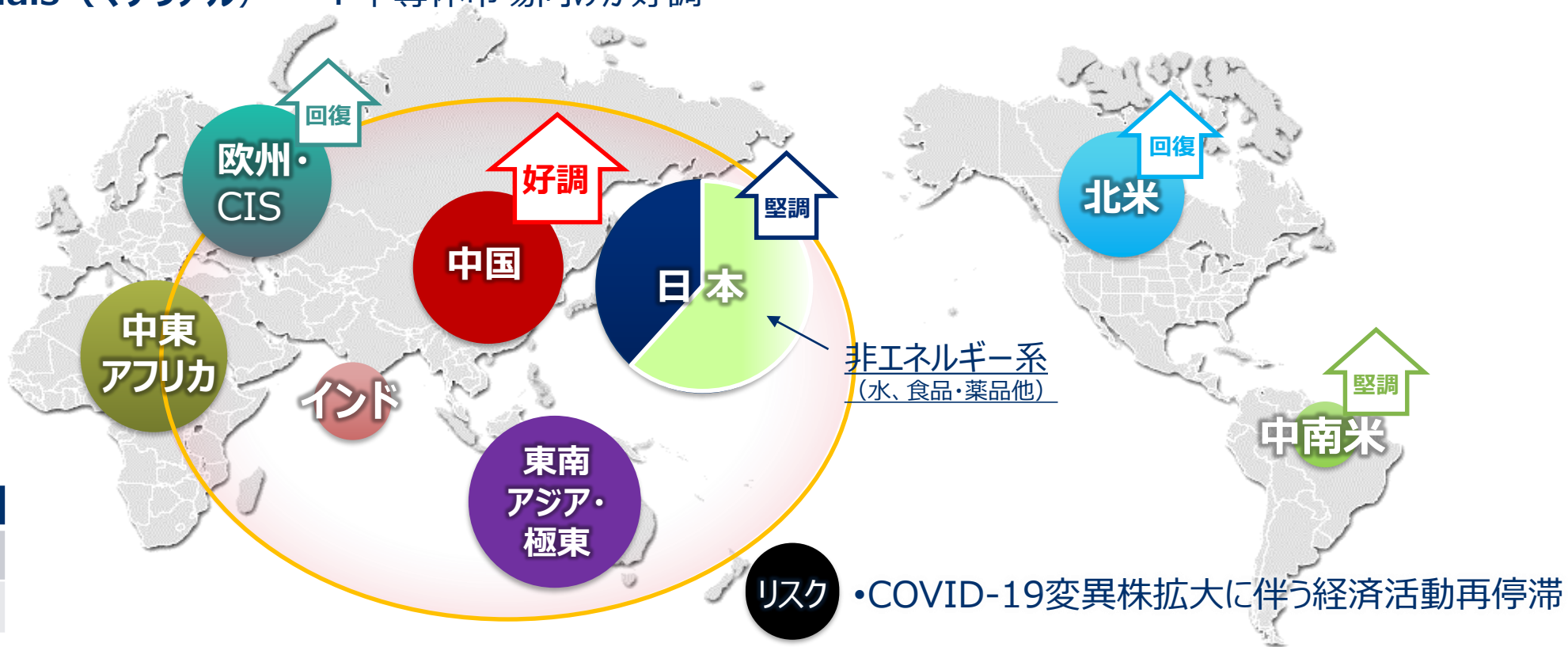
\*FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

| August 10, 2021 |

## 経済活動の再開に伴い堅調な回復

**地域** 中国：内需回復により好調 日本：引き続き堅調 欧州：昨年の落ち込みから回復

**業種** Downstream、Chemical：需要増に伴い、力強い回復傾向  
Materials（マテリアル）：半導体市場向けが好調



### 海外売上比率

FY20 1Q	70.0%
FY21 1Q	72.0%

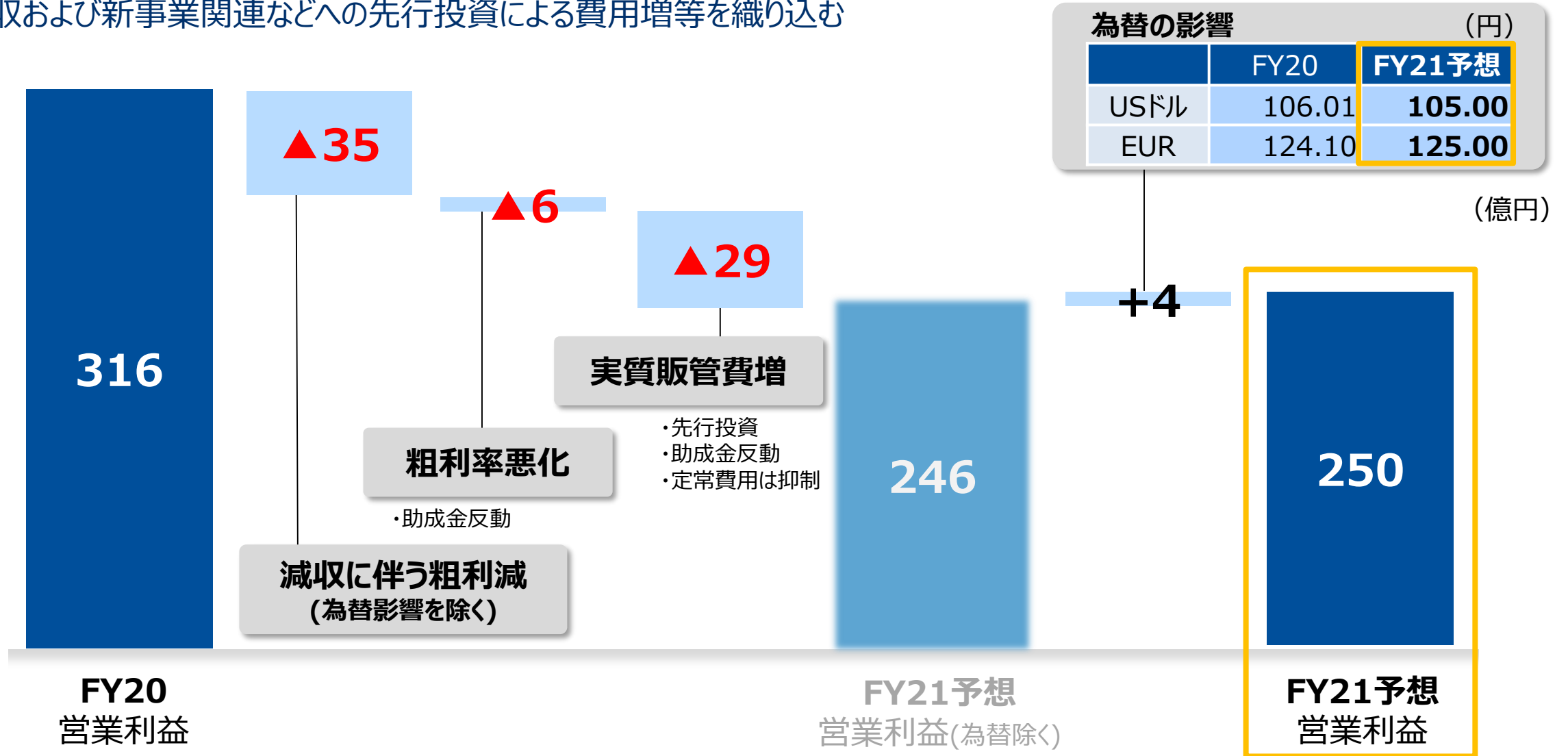
# FY21業績予想（修正なし）

- ◆受注高は、COVID-19感染拡大に伴う経済活動停滞の影響による減少は底を打ち、今後徐々に回復傾向に向かうと予想  
小口PJT（OPEX関連中心）から回復に向かい、大口PJT（CAPEX関連中心）は少し遅れて回復に向かう想定
- ◆売上高は、期初受注残高が大幅に減少しているなかで、回復にはまだ時間がかかるものと想定し、減収予想
- ◆営業利益は、減収に加えて、助成金の反動減および新事業関連などへの先行投資による費用増等を織り込み、減益予想

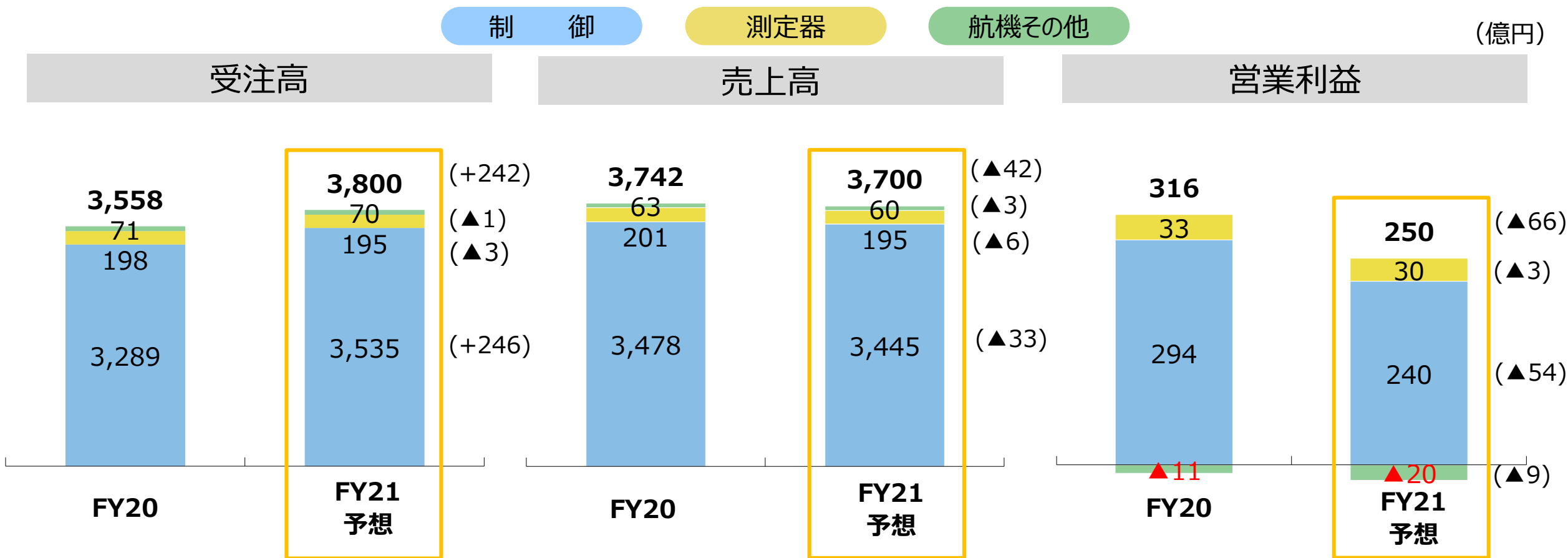
	FY19	FY20	FY21	前年比	伸長率	(億円)
受注高	4,187	3,558	<b>3,800</b>	+242	+6.8%	
売上高	4,044	3,742	<b>3,700</b>	▲42	▲1.1%	
営業利益	356	316	<b>250</b>	▲66	▲20.9%	
ROS(%)	8.8	8.4	<b>6.8</b>	▲1.6pt	—	
経常利益	363	341	<b>250</b>	▲91	▲26.7%	
税引前利益	258	315	<b>250</b>	▲65	▲20.6%	
法人税等	111	123	<b>90</b>	▲33	▲26.8%	
親会社株主に帰属する当期純利益	147	192	<b>160</b>	▲32	▲16.7%	
EPS(円)	55.02	72.00	<b>59.94</b>	▲12.06	▲16.8%	
為替レート 1米ドル=	108.96円	106.01円	<b>105.00円</b>	▲1.01円	—	

# 営業利益分析（修正なし）

◆減収および新事業関連などへの先行投資による費用増等を織り込む



# セグメント別 受注・売上・営業利益（修正なし）



\*FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

変更額(計測事業→制御事業)：受注高+59億円、売上高+57億円、営業利益▲21億円

# 制御地域別 受注・売上高（修正なし）

受注高	FY20 (A)	FY21 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,129	1,160	+31
アジア	1,049	1,125	+76
(東南アジア・ 極東)	(499)	(540)	(+41)
(中国)	(431)	(445)	(+14)
(インド)	(119)	(140)	(+21)
欧州・CIS	400	440	+40
中東アフリカ	379	450	+71
北米	222	250	+28
中南米	110	110	0
海外小計	2,160	2,375	+215
合計	3,289	3,535	+246
為替レート 1米ドル=	106.01円	105.00円	▲ 1.01円

(億円)

売上高	FY20 (A)	FY21 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,093	1,090	▲3
アジア	1,136	1,110	▲26
(東南アジア・ 極東)	(564)	(560)	(▲4)
(中国)	(449)	(420)	(▲29)
(インド)	(123)	(130)	(+7)
欧州・CIS	419	425	+6
中東アフリカ	420	450	+30
北米	315	270	▲45
中南米	95	100	+5
海外小計	2,385	2,355	▲30
合計	3,478	3,445	▲33
為替レート 1米ドル=	106.01円	105.00円	▲ 1.01円

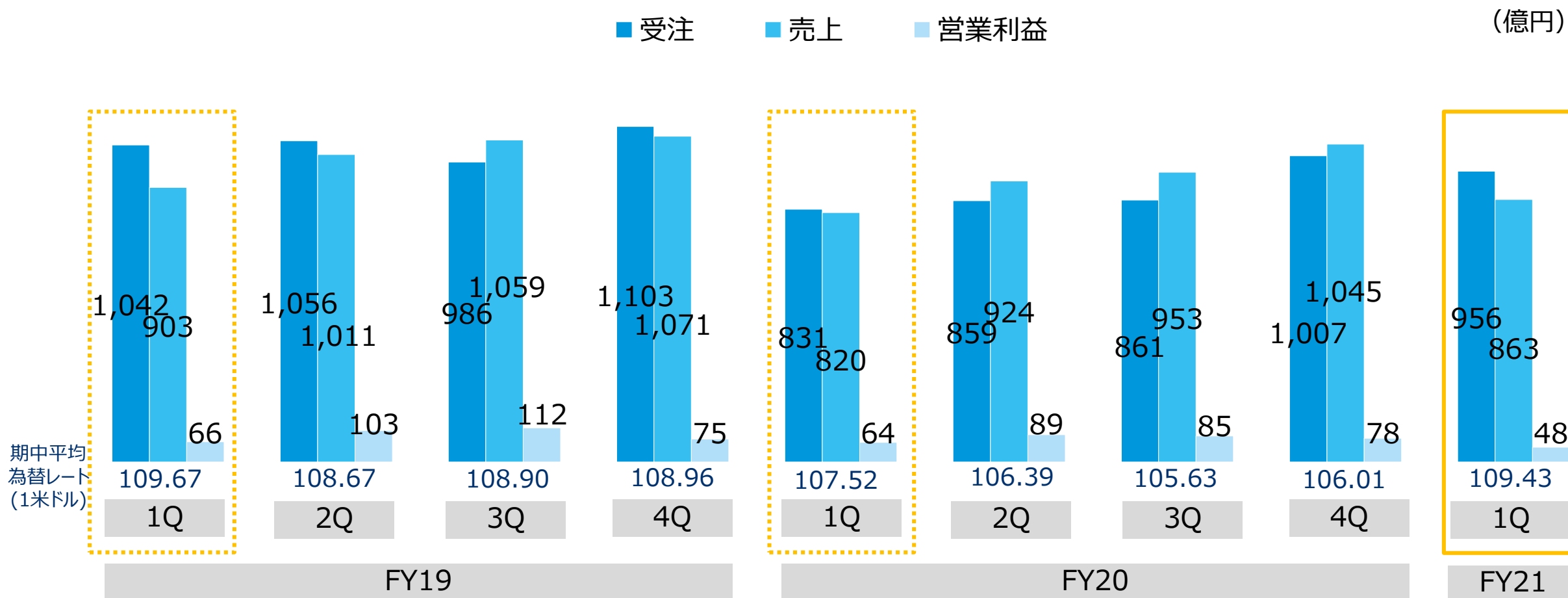
\*FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

## 決算補足資料

- ・四半期別実績
- ・営業外・特別損益
- ・受注残推移
- ・研究開発費・減価償却費・設備投資
- ・貸借対照表
- ・株価の状況

# 補足：四半期別実績

◆売上高・営業利益は、日本の制御事業を中心に2Qおよび4Qに集中傾向





# 補足：営業外・特別損益

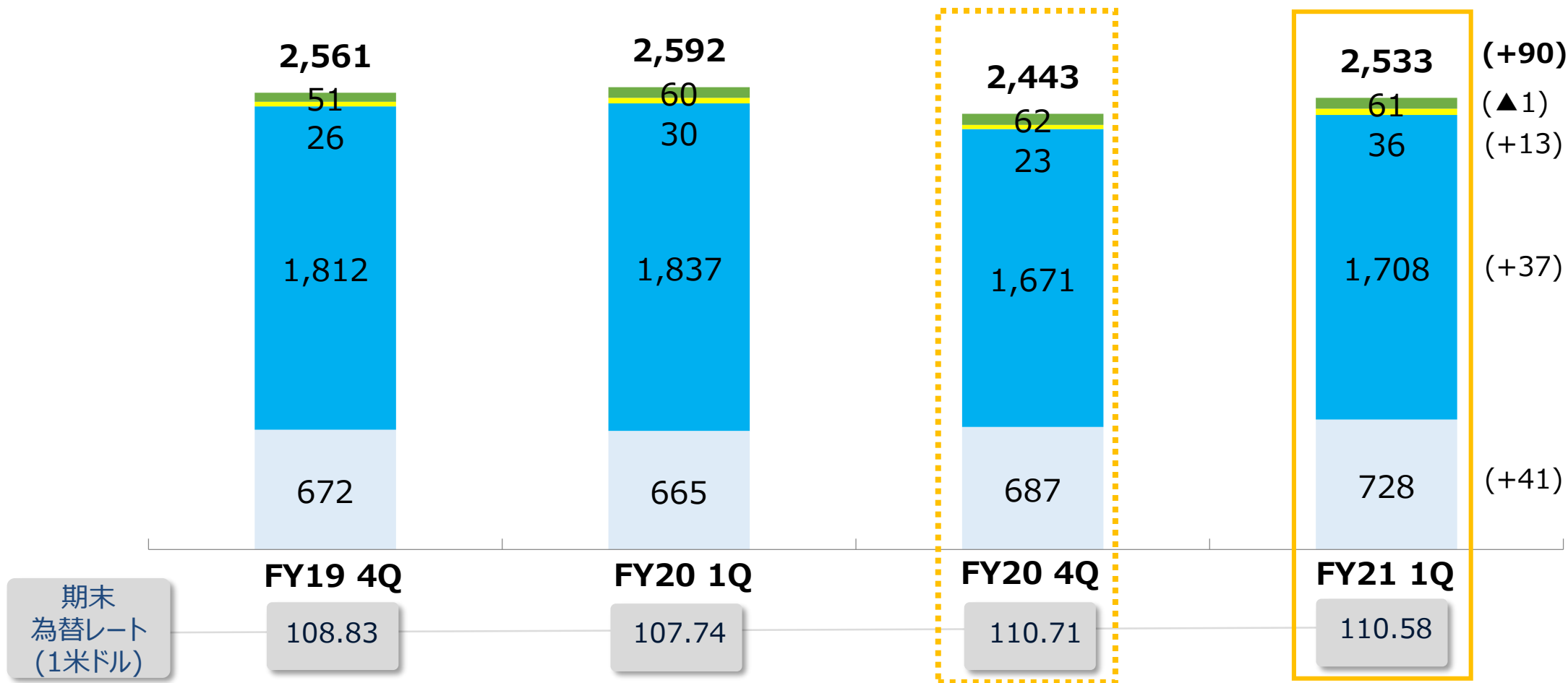
(億円)

	FY20_1Q	FY21_1Q
営業利益	64	48
営業外収益	13	11
営業外費用	6	6
経常利益	72	53
特別利益	0	0
特別損失	9	3
税引前利益	63	50
法人税等	33	20
親会社株主に帰属する 四半期純利益	30	30
(税負担率)	45.6%	29.7%

FY20：事業構造改善費用 9億円

# 補足：セグメント別 受注残推移

■ 制御（日本） ■ 制御（海外） ■ 測定器 ■ 航機その他 (億円)

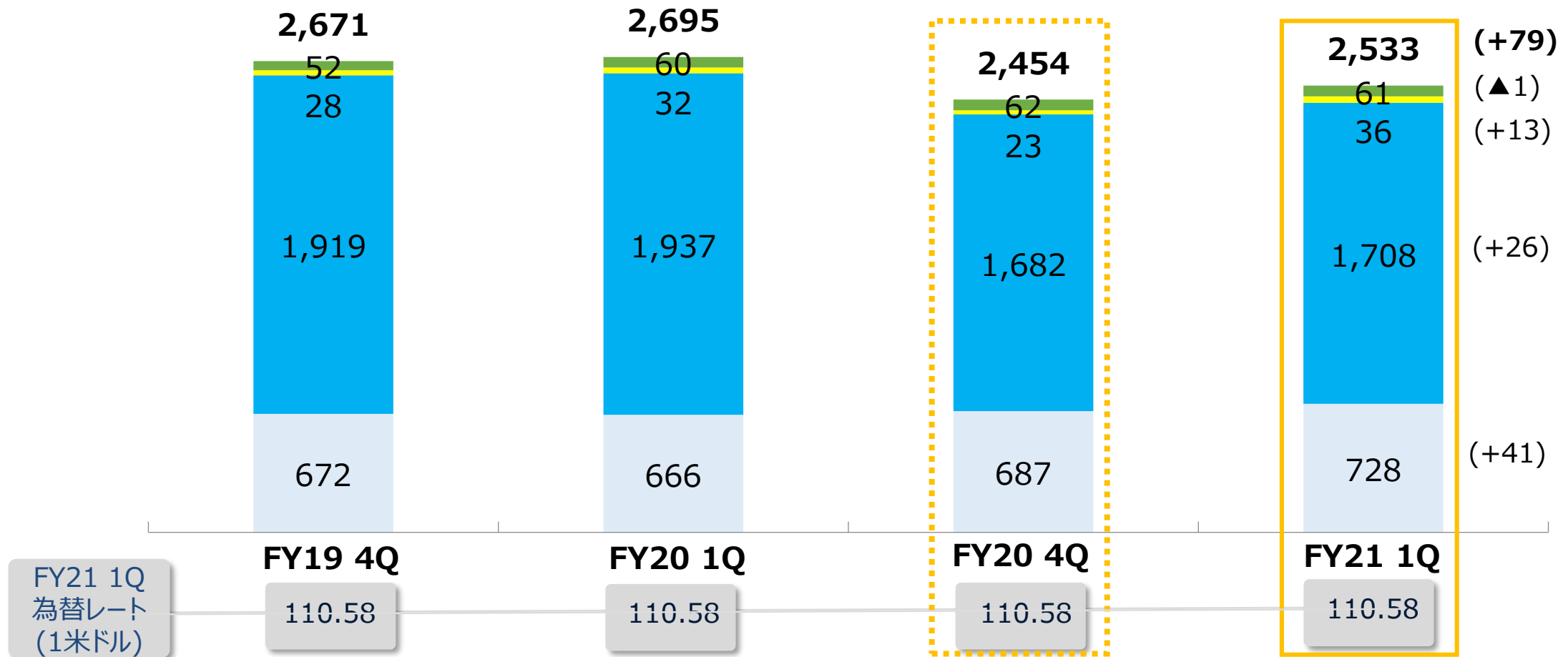


\*FY19, FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

# 補足：セグメント別 受注残推移

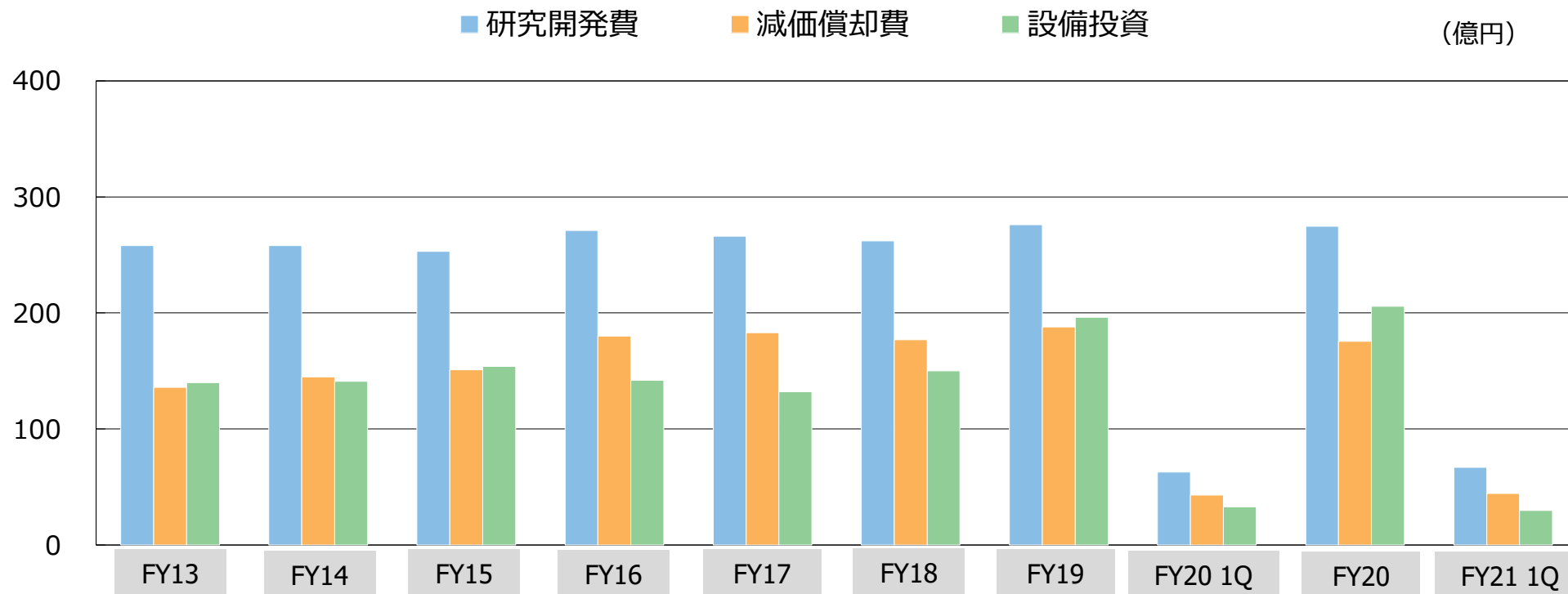
\* FY21 1Q期末為替レート換算

■ 制御（日本） ■ 制御（海外） ■ 測定器 ■ 航機その他 (億円)



\*FY19,FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

# 補足：研究開発費・減価償却費・設備投資

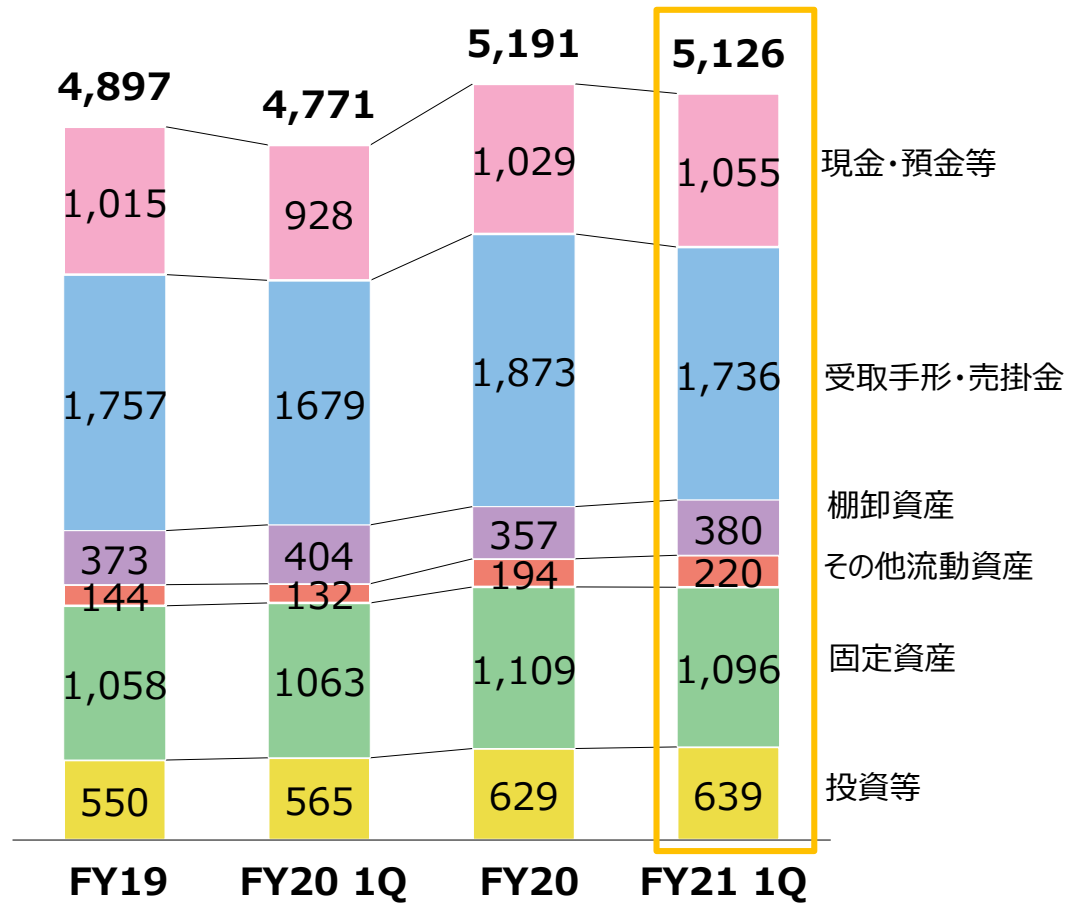


	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20 1Q	FY20	FY21 1Q
研究開発費 (対売上高比率)	258 6.6%	258 6.4%	253 6.1%	271 6.9%	266 6.5%	262 6.5%	276 6.8%	63 7.6%	275 7.3%	67 7.8%
減価償却費 (対売上高比率)	136 3.5%	145 3.6%	151 3.6%	180 4.6%	183 4.5%	177 4.4%	188 4.6%	43 5.3%	176 4.7%	44 5.1%
設備投資 (対売上高比率)	140 3.6%	141 3.5%	154 3.7%	142 3.6%	132 3.2%	150 3.7%	*196 4.9%	33 4.0%	206 5.5%	30 3.5%

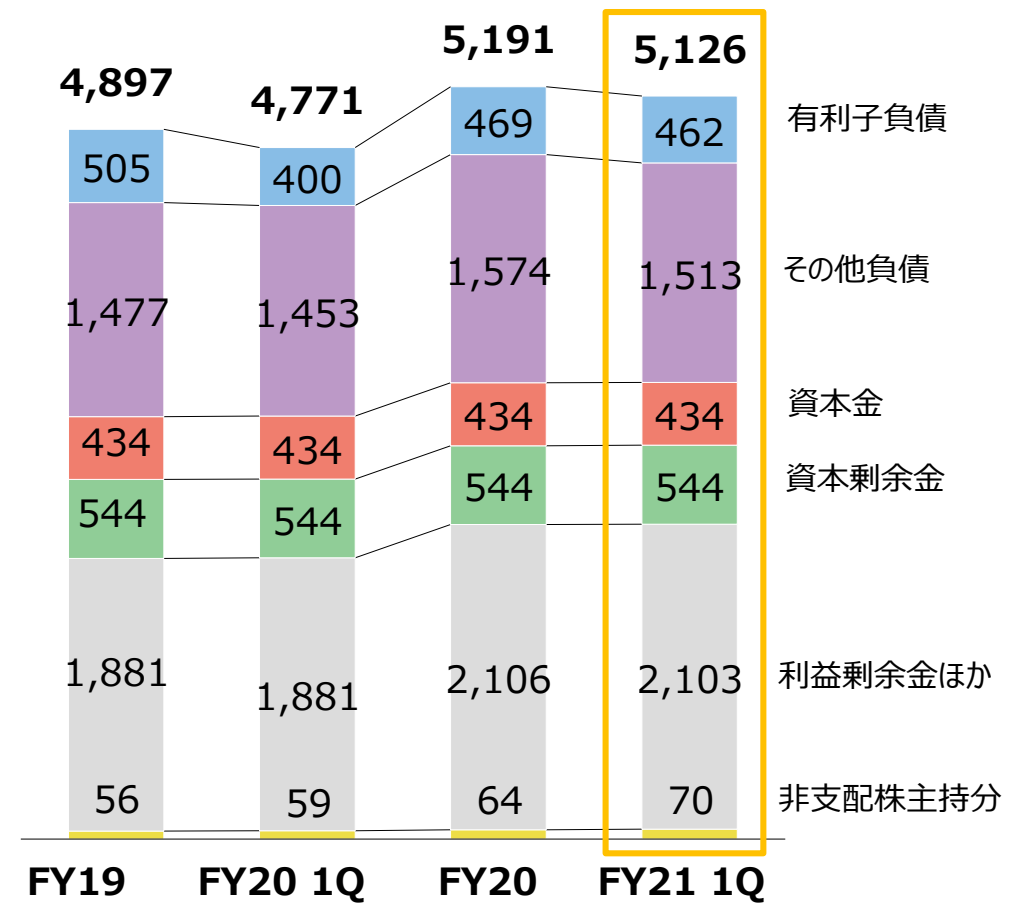
\*FY19よりIFRS第16号（リース）を適用

# 補足：貸借対照表

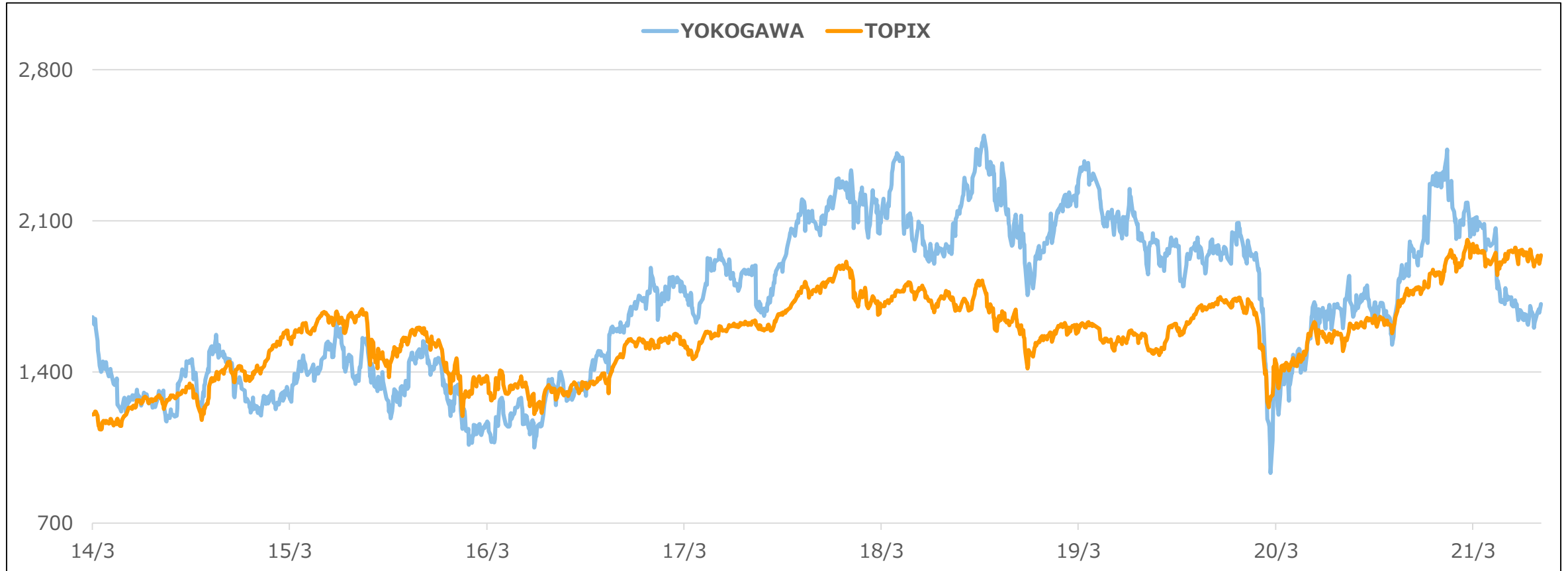
## 資産



## 負債・資本



# 補足：株価の状況



	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	21/6	21/8/2
Yokogawa	1,667	1,295	1,163	1,752	2,198	2,291	1,303	2,038	1,660	1,715
TOPIX	1,203	1,543	1,347	1,512	1,716	1,592	1,403	1,954	1,944	1,940

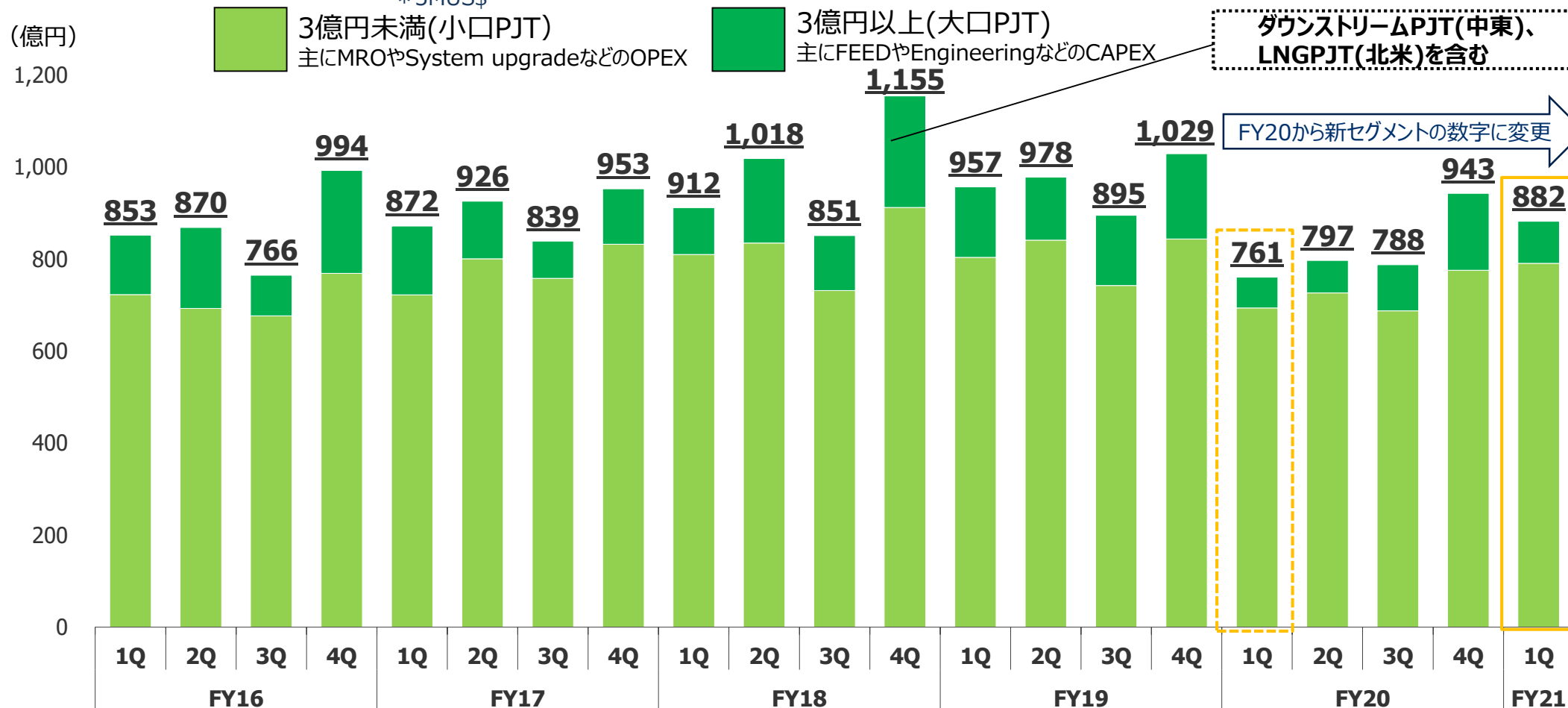
## 参考資料

- ・制御ビジネス金額別受注推移
- ・トピックス
- ・採用されているESG関連インデックスなど

# ご参考：制御ビジネス金額別受注推移

約3億円\*以上の大口PJT比率は10~15%程度のみ

\*3MUS\$



	FY16				FY17				FY18				FY19				FY20				FY21
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
USD	108.53	102.91	107.64	108.95	111.42	111.29	111.77	110.7	109.53	110.72	111.34	111.07	109.67	108.67	108.9	108.96	107.52	106.39	105.63	106.01	109.43



# ご参考：トピックス (5/12～8/10)

5月

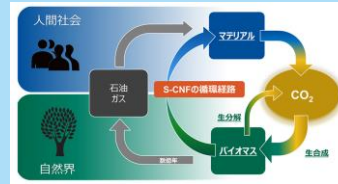
OpreX Asset Operations and Optimizationのラインアップとして、高度制御ソリューション「Platform for Advanced Control and Estimation R5.03」を開発・発売  
～OPC UA 通信規格に対応、プラントシステムの相互運用性とセキュリティを向上～



6月

【横河バイオフィロンティア】高機能ナノセルロース素材「S-CNF」の提供を開始  
～フィルム、充填剤、機能添加剤など、化学・素材業界に新たな提案～

【NEDO/高砂ケミカル/田辺三菱製薬/コニカミルタケミカル/横河ソリューションサービス/テックプロジェクトサービス/大成建設/島津製作所/三菱化工機/産総研】バッチ連続生産方式による医薬品製造設備の実用化を開始  
～エネルギーの大幅削減が見込める検証結果を獲得～



【横河バイオフィロンティア】植物の成長促進に有効な微細藻類由来のバイオスティミュラント「Panacea」の販売を開始  
～持続可能な農業実現に向け、日本の農薬・肥料メーカーに新提案～

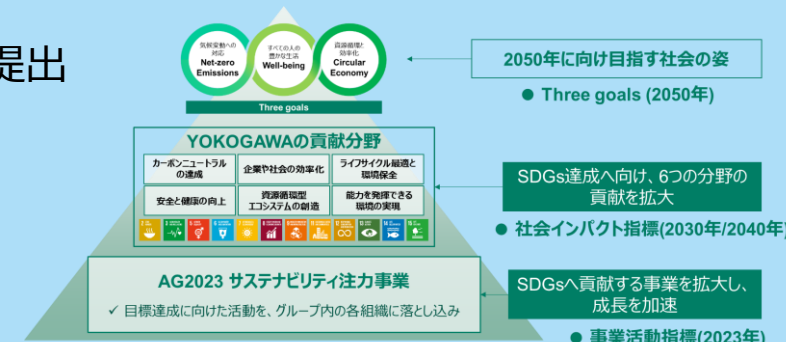
7月

プラントデータ変換プラットフォーム「OpreX Data Model Broker」を開発・発売  
～データ間の乖離や不整合を自動で検証、プラントの建設・運転効率を画期的に改善～

政学産連携の「月面産業ビジョン協議会」に参画、とりまとめた提言を日本政府に共同で提出

カーボンニュートラルなコンビナートの実現に向けた産業間連携調査を開始  
～コンビナートから排出されるCO2の有効利用による脱炭素実現を目指す～

新中期経営計画「Accelerate Growth 2023」におけるサステナビリティ目標を設定  
～重点課題を特定し、2040年カーボンニュートラルを目指す～



# ご参考：YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

2021年7月現在

DJSI-World Index  
DJSI-Asia Pacific Index  
FTSE4Good Index Series  
FTSE Blossom Japan Index  
MSCI ESG Ratings AA  
MSCI ESG Leaders Indexes  
MSCIジャパンESG セレクト・リーダーズ指数  
MSCI 日本株 女性活躍指数  
CDP 気候変動対策Aリスト  
CDP 水セキュリティ対策Aリスト  
SNAMサステナビリティ・インデックス  
S&P/JPXカーボンエフィシエント指数



CLIMATE

WATER

Member of  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA



FTSE4Good



FTSE Blossom  
Japan



**2021** MSCI ESG Leaders  
Indexes Constituent

**2021** CONSTITUENT MSCI ジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数

**2021** CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

横河電機株式会社のMSCI Indexesへの組み入れ、および本レポートでのMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名称の使用は、MSCIまたはその関係会社による横河電機株式会社の後援、推薦またはプロモーションではありません。MSCI IndexesはMSCIの独占的財産あり、その名称およびロゴはMSCIおよびその関係会社の商標またはサービスマークです。

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行した後は、適用法令の用件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用すること等を禁じます。

また、本資料には企業連結に係る暫定的な会計処理の確定および税効果会計に係る会計基準の一部改正に伴う過年度遡及修正を反映しておりません。(決算短信とは軽微な相違があります)

## 横河電機株式会社

IR部

Email : [Yokogawa\\_Electric\\_IR6841@cs.jp.yokogawa.com](mailto:Yokogawa_Electric_IR6841@cs.jp.yokogawa.com)

TEL : 0422-52-6845

URL : <https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/>

# Co-innovating tomorrow™

